

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF
香川漁連

高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

名和組合長 旭日双光章受章



名 和 基 延

津田漁業協同組合 代表理事組合長

11月3日(水)、平成23年度秋の叙勲受章者が発表され、香川県においては63名の方が受章された。

県下水産関係者では、津田漁協名和基延代表理事組合長が永年に亘る地方自治に貢献された功績により、旭日双光章を受章された。

名和組合長は、昭和39年に組合監事に就任、昭和48年から理事に就任、昭和51年には人格、見識及び類い稀なる指導力を認められ代表理事組合長に就任され、漁協の行う各種事業の堅実な運営を図ると共に、漁業種類間の調整を図り組合員の安定した操業に寄与してこられた。

さらに、信漁連理事、水産振興基金理事、香川県東部漁連代表理事会長等を歴任され、現在は平成18年より県漁連代表監事に就任されている。

また、平成7年には多くの県民の支持を受け県議会議員に当選して以来、平成23年3月に勇退されるまでの4期16年の長きに渡る期間、香川県の地方自治及び香川県の水産行政に尽力され、県下水産業の振興、関係団体の発展と健全な運営に大きく貢献された。

社団法人大日本水産会 水産功労者表彰



岡 田 和 子

庵治漁協女性部部长

香川県漁協女性部連合会会長

社団法人大日本水産会は、10月12日(水)、2011年度水産功労者42人を決定し、本県から香川県漁協女性部連合会会長の岡田和子氏が受賞され、表彰式が11月25日(金)に東京港区の三会堂ビル石垣記念ホールで行われた。

この表彰は、明治23年以来、水産業の振興発展に功績のあった方々を水産功労者として表彰しているものである。

岡田会長は、昭和40年に庵治漁協女性部に入党し、昭和60年に同漁協女性部部长、平成7年に香川県漁協女性部連合会会長に就任、平成12年から平成15年までは全国漁協女性部連絡協議会副会長を務めるなど、長きに亘り漁協女性部活動の発展に精励されてきた。現在も県漁協女性部連合会会長、全国漁協女性部連絡協議会監事を務められ、地域や関係機関と連携のもと、魚食普及活動やライフジャケット着用推進運動等に率先して取り組む一方、漁協事業にも積極的に協力し浜の活性化に尽力されている。

第9回中讃、秋のぴちぴちとれたて市開催

10月29日(土)、爽やかな秋晴れの下、中讃2市2町と9漁協で設立した中讃海域漁業・漁村活性化協議会事務局、宇多津町産業振興課が主催の「第9回中讃、秋のぴちぴちとれたて市」がJR宇多津

駅前南口広場で開催された。

今回で9回となるぴちぴちとれたて市は、魚に親しんでもらい、消費拡大につなげることを目的に開催されたもので、今回も各漁協から、水揚げされたカレイ、カキ、メバル、ゲタなど新鮮な魚介類がずらりと並び、また婦人部がその場で揚げたタコのてんぷら、ハゼの空揚げ等を販売。オープンと同時に入場者の行列ができ殆どの出店ブースは午前中に売り切れていた。



大盛況のハマチのしゃぶしゃぶ試食会

本会からは加工事業部がイリコ、チリメン等を出展したほか、限定200食の「ハマチのしゃぶしゃぶ試食会」も開始後わずか30分で完食し終了。また、お魚ビンゴゲーム、お魚名前当てクイズの「お魚シャトルイベント」などを行い大盛況のうちに終了した。

第56回香川県植樹祭への参加

11月12日(土)さぬき空港公園において、香川県が主催する「第56回香川県植樹祭」に香川県漁協青壮年部の部員15名が参加し植樹を行った。

植樹祭には県下ボランティアや関係者約200名が参加。参加者は10班に班構成され、漁協青壮年



植樹後の記念撮影

部は5班に割り当てられた。

5班の漁協青壮年部はベニカナメモチの苗木50本を受け持ち、各部員が手際よく地面を掘り植え付けを行った。森の栄養分が河川を伝わって海に流れ込むことから、森づくりは海づくりという認識を持っており、この植樹祭が豊かな海づくりの一步ということに参加者一同が実感していた。

第31回全国豊かな海づくり大会開催

10月29日(土)30日(日)の両日、天皇・皇后両陛下をお迎えし、鳥取県鳥取市において「つくろうよみんなが笑顔になれる海」を大会テーマに第31回全国豊かな海づくり大会が開催された。

東日本大震災を受けて、「がんばろう日本、災害からの復興」をサブテーマに加え震災からの復興への思いを共有しようということで、東日本大震災で被災した漁業者や宮城、岩手、福島3県の水産高校の生徒も招待された。

式典で両陛下ご臨席のもと「本大会が森林、河川、湖沼、海の環境の保全や再生、育てる漁業に多くの人が取り組む契機となることを期待する」と主催者を代表して横路孝弘衆議院議長が挨拶をした。また、服部大会推進委員会会長(JF全漁連会長)が「私たちは、今年3月に発生した東日本大震災により、未曾有の水産被害を受けたが、この大きな悲しみと苦難を乗り越え、一日も早い復興を実現しなければならない。さらに、我が国の恵まれた水産資源を守り、豊穡の海という財産を、将来に引き継ぐ重要な責任がある」とする大会決議を朗読し満場の拍手をもって採択された。

来年は沖縄県にて開催予定。

善意をありがとう

(財) 漁船海難遺児育英会に下記の方からご寄付をいただきました。ご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

(社) 水産振興協会 専務 寒川昌彦 様
香川県漁連 常務 多田正彦 様

主な行事予定 (12/1~12/31)

- 12月15日(木) 第1回ノリ共販
- 22日(木) 漁連理事会
- 25日(日) 第2回ノリ共販
- 28日(水) 仕事納め